

# 平成 1 2 年度試験研究成果

区分	指導	題名	ガーデニング用素材としての中輪系シクラメンの栽培法		
[要約] 近年需要が高まってきているガーデニング用のシクラメンの栽培法は、3号ないし2.5号ポリポットを使用し、3月播種で10月から出荷する体系が適している。					
キーワード	シクラメン	ガーデニング			県北農業研究所 産地育成研究室

## 1. 背景とねらい

従来、シクラメンは4号以上の鉢物が求められてきたが、近年ガーデニング用高級素材として小さいポットサイズでの需要が高まってきている。そこで、県北地域における夏期冷涼な気候を生かしたガーデニング用としての中輪系シクラメンの栽培法を実証した。

## 2. 技術の内容

- (1) ガーデニング用素材として、大鉢への寄せ植え、あるいは花壇に移植する使われ方を前提とするため、3号(9cm)あるいは2.5号(7.5cm)ポリポットでの栽培とする。
- (2) ガーデニング用シクラメンの作型は、市場価格が上昇する10月からの出荷に対応させるため、3月播種、6月鉢上げ、10月出荷とする(表1、図1)。
- (3) セル成型育苗した苗は本葉が3~4枚の頃に鉢上げするが、その後の鉢替えは行わず、4~5輪開花させてから出荷する。
- (4) 鉢物用シクラメンに比べ、ガーデニング用のハウス利用期間は6月から11月までの約6ヶ月間と短く、春出荷用花壇苗との組み合わせや、水稻育苗ハウスの後利用も可能である。(表1、図2)。
- (5) ガーデニング用シクラメンの販売単価は鉢物用に比べ安いですが、単位面積当たり収容ポット数が多いことから、販売額の増大が期待できる(表3、表4)。

## 3. 指導上の留意事項

- (1) シクラメンのセル成型育苗法、病害虫の防除、施肥管理等については、「平成12年度 野菜・花き栽培技術指針(岩手県農政部)」に準じて行う。
- (2) 同じシリーズの品種でも移植できる苗の割合や開花時期が異なる傾向がみられることから、出荷時の色合わせができるよう、播種量及び播種時期を考慮する必要がある(表2)。
- (3) 開花は9月上旬から始まるが、需要期の出荷に合わせて早期出蕾花を摘み取る(表1、図1)。
- (4) 10月中旬以降は輪数を確保するために最低温度を10℃程度に加温を行う。
- (5) 12月中旬以降はガーデニング用シクラメンの市場価格が低下する傾向にあり、また、暖房費もかさむことから、これ以前に出荷することが望ましい。
- (6) 2.5号ポットは用土が少ないため土が乾きやすいので、特に夏期間は水を切らさないように注意する。また、2.5号ポットでは根詰まりを起こしやすいので、需要期になったらできるだけ早くに出荷するよう努める。
- (7) 本試験の成績は、「株式会社 サカタのタネ」のソリッドシリーズを用いたものである。

## 4. 技術の適応地帯

県北部地域

## 5. 当該事項に係る試験研究課題

[花き2]-2-(5)-ア 県北中山間地域における花き品目導入による農業経営の確立実証(一戸町)  
(イ) 花壇苗周年生産技術の確立

## 6. 参考文献・資料

- (1) 平成12年度 野菜・花き栽培技術指針 岩手県農政部

7. 試験成績の概要 (具体的なデータ)

表1. 播種期の違いによる開花、出荷状況 (H10)

播種期	鉢上げ日	開花始期	開花盛期	出荷開始期
3 / 10	6 / 15 (97)	9 / 4 (178)	9 / 17 (191)	9 / 30 (204)
3 / 25	6 / 29 (96)	9 / 18 (177)	10 / 6 (195)	10 / 21 (210)
4 / 21	7 / 7 (77)	10 / 24 (165)		12 / 10 (233)

注1) 品種: ソリッドシリーズ (中輪系 F 1 品種)

注2) カッコ内の数字: 播種後日数

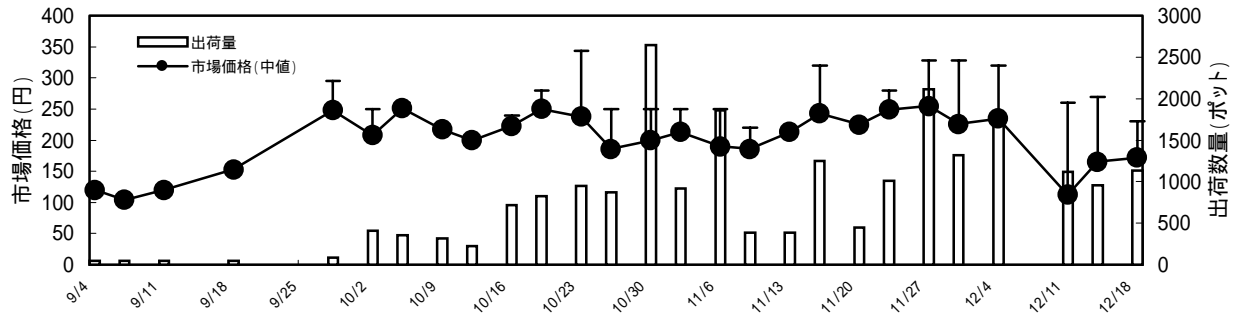


図1 シクラメン(3号)の市場価格(愛知:豊明花き市況情報 H12)  
注) の上線は高値

表2. ソリッドシリーズ (中輪系 F 1 品種) の移植苗率と開花、出荷状況 (H12)

品種名	移植可能苗率 (%)	開花始 (月日)	11/15 現在出荷率 (%)	12/6 現在出荷率 (%)
ローズピンク	70.5	9/25	37.5	83.9
スカーレット	80.0	9/12	51.2	76.8
サーモン	74.0	9/27	58.9	87.5
ローズ	86.0	9/7	75.0	100
ピュア・ホワイト	90.5	9/4	71.4	100
シェパード	87.0	9/21	83.9	100

注1) 3 / 10 播種、6 / 15 鉢上げ

注2) 移植可能苗率: 鉢上げ (6 / 15) 時点での播種数に対する移植可能な苗の割合

表3. 市場価格 (H12)

単位: 円

	11/2 <sup>a</sup>	11/11 <sup>b,c</sup>	11/18 <sup>b,d</sup>	11/28 <sup>c</sup>	平均単価
3号ポット	230	200、255	220、250 (300)	295 (275)	241.7 (287.5)
2.5号ポット	(220)	(200、200)	200、250 (250)	264 (264)	238.0 (226.8)
4号鉢					408.1
5号鉢					792.3

注1) 3号、2.5号ポット: H12 県北農業研究所実績

注2) 鉢物用4号鉢: 愛知県、豊明花き市況情報より、H12.11月平均

注3) カッコ内の数字はプラ鉢での販売単価

注4) 出荷先市場 a: 東京久留米、b: 鴻巣園芸センター、c: 大田花き、d: 東京フラワーポート

表4. 面積当たり収容ポット数及び販売額

	5号	4号	3号	2.5号
ポット数 (ポット / m <sup>2</sup> )	9.5	15.2	36.8	66.0
販売額 (円 / m <sup>2</sup> )	7,527	6,203	8,895	15,708

注1) ポット数: 5号(F1)、4号(G)・・・標準的なポット数 3号、2.5号・・・県北農業研究所実測ポット数

注2) 販売額: 表3の月平均単価 × ポット数

図2. ハウス利用期間の現地事例 (一戸町小友地区)

	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春花壇苗、秋花壇苗				■	■	■	■	■	■	■	■	■
水稻育苗				■	■	■						
ガーデニング用シクラメン							■	■	■	■	■	■